



第7回 「糖鎖は細胞の顔～糖鎖からみる病気のメカニズム」

日時	2022年10月8日（土） 14時00分～15時30分
講師	東 恭平 東京理科大学 薬学部 薬学科 准教授
講義概要	<p>糖鎖は、エネルギーを使って10種類の単糖が連結してできた高分子です。主に細胞と細胞のコミュニケーションに使われていて、成長、老化、病気によって糖鎖を構成する単糖の種類や大きさが異なってきます。すなわち、糖鎖を調べることで病気のメカニズムがより詳細に分かることがあります。脳梗塞は血管が詰まることで非常に大きな炎症を起こす重篤な病気ですが、私達は脳血管の糖鎖の分解が炎症に関わることを見出しました。現在は、脳血管の糖鎖を効果的に保護し、炎症を抑えることが目標です。血管の糖鎖から見た脳梗塞の炎症メカニズムと現在取り組んでいる治療薬についてお話しさせていただきます。</p>